



7-0259

0352

110749

吉田領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

安東 大正五年一月一日發

同 年同月同日受

費電第一五四號ニ關シ

目下當地ニハ獨逸人ノ在留スルモノナシ

鈴木總領事代電ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

關島 大正五年一月二日發

同 年同月同日受

在奉天總領事代電宛費電第一五四號ニ關シ當領事館内ニハ獨逸人ナシ  
又餘領事ナシ  
在支公使済

7-0259

0353

116750

天野備率ヨリ石井外務大臣宛

電附第一號

福州 大正五年一月二日發

同 年同月同日受

在漢口總領事宛貴電第四八號ニ關シ福州日本專管居留地取扱書ハ未

タ實施セラレ居ラス

北京傳電スミ

清水事務代理ヨリ石井外務大臣宛

電附第一號

重慶 大正五年一月二日發

同 年同月同日受

外務大臣第四八號傳電調ノ件重慶日本專管居留地ニハ獨逸人ノ住居  
スル者ナシ

7-0259

0354

110751

土谷領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

遼陽 大正五年一月二日發

同 年同月同日受

奉天宛貴電第一五四號ニ關シ當地ニハ目下獨逸人居住スルモノナク  
從テ彼等ノ陰謀ト認ムヘキモノナシ

酒匂領事代理ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

鐵嶺 大正五年一月二日發

同 年同月同日受

在奉天總領事代理宛貴電第一五四號ニ關シ常館内ニハ獨逸人ノ居住  
者ナク又從來彼等カ陰謀ヲ企テタル事實ヲ認メス尤モ舊月十日頃獨  
逸將校一名鐵嶺ヨリ總家屯ニ至リ同地巡警ニ職務セラレ新民府ニ向  
ヒタル旨聞込タルニ付當時新民府分館ニ照會シ置ケリ  
右北京奉天へ轉電ス

7-0259

0355

110752

滬上事務代辦ヨリ石井外務大臣宛

電信第一〇號

杭州 大正五年一月二日發

同 年同月同日受

貴大臣發上海總領事宛傳秘電報第一五四號ニ關シ當地專管居留地ニ  
ハ獨逸人ノ居留者ナク且目下ノ處サシタル陰謀アルヲ覺ス

滬上領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

廈門 大正五年一月二日發

同 年同月同日受

在漢口總領事宛傳秘電報第四八號(二日午後着)ニ關シ當地專管  
居留地ニハ居住ノ獨逸人陰謀共ニナシ

7-0259

0356

110753

大和久事務代理ヨリ石井外務大臣宛

電信第三三號

九江 大正五年一月二日發

同 年同月同日受

上海宛電信第一五五號ニ關シ當地ニハ獨逸人一名モ在留セス又江西  
省ニハ多少ノ回國宣教師居レトモ何レモ政治上ニ關係ナシ  
北京ニ轉電セリ

池永事務代理ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

蘇州 大正五年一月三日發

同 年同月同日受

當地專管居留地ニハ近來獨逸人ノ居住ナク從テ險難ヲ金テシコトナ

7-0259

0357

110754

河内領事代理ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

油頭 大正五年一月三日發

同 年同月同日受

在上海總領事經由貴電第一五五號ニ關シ當地ニ於ケル現在海境人員  
 數ハ領事館二商人五稅關吏三遊難商船四隻乘組員約十二、英國人一  
 (婦人小兒ヲ含マス) 計二十三ニシテ戰爭勃發當時ハ體々險難ヲ金  
 ツル風説アリシモノモ實現シタルコトナク昨今ハ彼等ノ商賣ヲ杜絶  
 意氣銷沈全ク營生ノ有様ナリ併シ支那人間ニハ矢張り最後ノ勝利ヲ  
 誇大ニ吹嘘シ支那ニ於ケル彼等ノ威嚴ヲ損セサルコトニ厥心ヲ居ル  
 位ニ止マルカ如シ

瀨川總領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第五號

漢口 大正五年一月三日發

同 年同月四日受

貴電第四八號ニ關シ漢口日本專管居留地内ニハ獨逸人ノ居住スル者  
 ナシ昨年五六月ノ交當地附近ニ發生セシ排日熱ハ獨逸人ノ煽動シタ  
 ル様アリ又其ノ當時日本商品ニ對スルボイコットニハ獨逸商店ニ使  
 用スル買辦等ノ運動與リテ力アリシモノノ如シト雖此ノ外ニハ獨逸  
 人ノ我國ニ對スル陰謀ト目スヘキモノアルヲ認メス尤現在歐洲大戦  
 ニ關シ支那ノ民心ヲ自國ニ向ヘシムルト同時ニ敵國ニ離反セシムル  
 爲ニハ有ユル手段ヲ講シ獨逸側ニ有利ニシテ英佛側ニ不利ナル觀況

7-0259

0358

ノ活動真眞ヲ演シ成ハ印刷物ヲ配賦シ成ハ新聞紙ヲ操縦スル等百方  
 策ヲ盡シテ備ム所ヲ知ラサルカ故ニ英佛人ノ獨逸人ヲ繼ムノ情ハ固  
 ラ然ルニ從テ益々甚シク遂ニ之ヲ窮境ニ陥レ立脚ノ地ナキニ至ラシ  
 メントスル方寸ヨリシテ此ノ進放策モ案出セラレタルモノノ如シト  
 雖本官ノ見ル所ヲ以テスレハ當地ニハ獨逸租界アリ又支那市街ニモ  
 外國人ハ隨意ニ居住シ得ベキカ故ニ假令英佛諸ノ租界内ヨリ獨逸人  
 ヲ進放スルモ彼等ハ左迄苦痛ヲ感セサルヘシ故ニ當地ノ如ク獨逸カ  
 國國ノ租界ヲ有スル場所ニ在リテハ獨逸人ヲ支那内地及獨逸租界ヨ  
 リ進放シ難スノ策アラサル歟ハ假令一二租界ヨリ進放スルモ格別ノ效果  
 アラサルヘク殊ニ日本ノ如キハ假令獨逸人カ其ノ租界内ニ居住セリトスル  
 モ之ヲ進放シテ其ノ反感ヲ買ヒ有力ナル獨逸商店ノ買辦等ヲシテ再ヒ事イコ

ツトノ主動者タラシムルカ如キハ所謂平地ニ風波ヲ起スモノニシテ  
 此際決シテ望マシキコトニアラス但シ現時ニ於ケル我國ノ立場トシ  
 テ戰爭ノ結局ヲ告タル迄獨逸人ノ新ニ我租界内ニ居住スルヲ防遏ス  
 ルノ一事ハ決シテ實行シ難キニアラスト尙ス  
 在支公使へ轉電セリ





110756

有官總領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第三號

上海 大正五年一月四日發

同 年同月同日受

貴電第一五五號ニ關シ客年十月十六日租界當局ノ調査ニ依レハ共同  
 租界内獨國人千百五十五人、埃洪國人百二十三、佛國租界内獨國人二百  
 七十、埃洪國人二十七ニシテ當地外ニ住スルモノハ不詳ナルモ然ラテ  
 率邊ニ於ケル獨逸人四五名位ノモノナラント察セラル尙一昨年末稅  
 關ノ調査ニ依レハ當市ニ於ケル獨逸商店ノ數ハ英ノ二〇二、日本ノ  
 一一七ニ對スル一〇二、埃洪國一五ナリ又獨逸人ノ除隊ニ關シテハ十  
 一月二十五日附機密第九五號ヲ以テ報告シタル以來別ニ關込ミタル

事ナシ

公使ヘ電スミ

7-0259

0360

110757

山内領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

長春 大正五年一月四日發

同 年同月同日受

森田ヨリ第一號

吉林ニ於ケル獨逸人ハ戸數三人口七塊國人ハ逃走捕虜兵卒一ニシテ  
獨人ニ付テハ客年十月七日機密第五四號捕信ノ通りニシテ其後何等  
異狀之ナク塊國兵捕虜ハ官憲ニ於テ警察廳内ノ一室ヲ貸與シ行動ヲ  
監視シツツアリ

軍事務代理ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

芝罘 大正五年一月五日發

同 年同月同日受

貴電第一五四號ニ關シ當地現在ノ獨人男十名ニシテ内領事館二、郵  
便局一、留社等ニ七名塊人ハ領事一名ノミナリ今日起ノ所従等ニ何  
等變リタル舉動ナキ様子ナルモ尙今後注意ヲ怠ラヌ狀況電報スヘシ  
右在支公使ヘ電報済ミ

7-0259

0361

110758

赤坂總領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第四號

沙面 大正五年一月五日發

同 年同月同日受

一月五日上海經由貴電第一五四號ニ關シ當地ニ於ケル獨逸人ノ數ハ  
 確カニ知レサルモ當地沙面英佛居留地内ニ於ケル獨逸人ノ數ハ獨逸  
 領事館員商館員等合計男子二十八名婦人小兒約十人ナリ而シテ從來  
 彼等ノ險謀トシテ見ルヘキモノハ當地印度人ヲ煽動シテ在香港英國  
 印度兵ニ暴動ヲ起サシメ或ハ當地各地ニ旅行シ支那商人ニ安實母尼  
 ヲ敵國商人ニ賣ルヘカラサルコトヲ説キ又ハ歐洲ニ於ケル戰況ハ甚  
 タ自國ニ有利ナルコトヲ吹聴シ又新聞機縱ニ力ヲ用ヒ扇ル等ハ今日

迄現ハレタル險謀ニシテ其ノ危險極内情ニコソコソ運動シ居レルモ  
 ノノ如キモ具體的ニ之レヲ知ルコトヲ得ヌ潛航水雷艇組立ノコトハ  
 今日迄何等形跡ヲ認メヌ

北京電譯

7-0259

0362

110759

松平總領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第四號

天津 大正五年一月六日發

同 年同月七日受

外務大臣發漢口總領事宛電信第四八號ニ關シ在上海總領事宛電信第一五四號一月五日夜接到當租界ニハ獨逸人ノ經營セル中華貨店一（本人ハ獨逸租界ニ居住シ店ハ支那人ニ任セ居レリ）ノ外獨逸伴商ノ妻ト思ハルルモノ一名居住シ居ルノミニシテ之如何等陰謀ヲ行ヒタル形跡ナシ從テ陰謀ヲ防ク目的ヨリナラハ彼等ヲ追放スルノ必要ヲ認メズ該店ハ目下支那人ニ讓渡ヤントシツアル由ナレハ獨逸ノ勢力ヲ驅逐スル上ニハ何等ノ效力ナシ然ルニ我方ニ於テ右ノ如キ措

置ヲ執ルニ於テハ獨逸租界ニ於テモ亦日本人ノ退去ヲ迫マルヘキ事ヲ覺悟セサル可カラサル處目下同租界ニ居住シ居ル十數名ノ邦人ハ店舗ヲ有スルモノニ非ラサルヲ以テ退去ニ對シ多大ノ損失ヲ受ケタル事ナシトスルモ大連汽船會社ノ如キハ甚敷打撃ヲ受ケサルヘカラス右ノ理由ニ依リ當租界ノ關スル限リ獨逸人ノ追放ハ目下ノ狀態ニ於テハ極メテ我ニ不利ナル處處ト思考ス加之專管居留地ヨリ自衛ノ必要上外國人ヲ追放スル事ニ關シ支那政府ノ同意ヲ得ントスル如キハ應例ヲ贈スモノニ非ラサルカト思考ス尙御參考迄ニ申度キハ當處英佛租界ヨリ獨逸人ヲ追放スル時ハ獨逸人ニ對シ非常ノ苦痛ナル事英佛人カ獨逸租界ヨリ退去ヲ命セラレタリトテサシタル損失ハナキモノノ如ク本件ニ關シ我方ト利害相反シ居ルモノト思ハル

在支公使ヘ電報セリ

7-0259

0363

110760

赤塚總領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第六號

廣東 大正五年一月六日發

同 年同月同日受

一月六日往電第四號ニ關シ當地沙面英佛居留地内ヲ除キ常省各地ニ  
散在セル獨逸人約百二十人アルヲ以テ廣東全省ニテ合計約百五六十  
名ノ見込

北京電濟ミ

高橋領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

南京 大正五年一月六日發

同 年同月七日受

上海宛電第一五五號ニ關シ當地ニハ獨逸人ナシ現在獨逸在留員ハ  
約二十名(内領事館員四名稅關吏二名)ニシテ領事館員ノ外蓋シタ  
ル有力者ナキ候様ナリ此外エス九十號ノ抑留兵六十四名總監監長  
六アリ抑留兵員ニ付テハ或ハ漸次減少シツツアルヤノ風説アルニ付  
支那當局者ニ就キ尋本タルニ當局者ハ全然之ヲ否定シタリ又從來右  
獨逸人間ニ何等陰謀ケ聞取事實アリタルコトヲ聞カス  
右在支公使ヘ轉電セリ

7-0259

0364

110761

日置駐支公使ヨリ石井外務大臣宛

電信第一九號

北京 大正五年一月七日發

同 年同月八日受

一月四日蘇商公使ハ貴電第三號帝國政府 回答覺書寫ヲ懷ロエシテ  
 來訪大要左ノ通談結シ且其ノ所見ハ在日本據國大使及本國政府ニ電  
 禀スル積ナリト附言セリ之ニ對シ本使ハ本問題カ目下東京ニ於テ交  
 涉中ナルニ願ミ何等論議スルコトヲ見合セ只難取スルニ止メ置キタ  
 日本政府ハ獨支國交斷絶ノ結果支那ノ安寧秩序紊亂スルニ至ルヘシ  
 ト憂慮シ居ラルルモ此ノ所見ニハ全然同意スルヲ得ヌ假令國交斷絶

- スルモ支那ノ領土内ニ於テ戰國行ハルルカ如キコト斷シテ之レナカ  
 ルヘク從テ支那國內ハ依然平靜ニシテ何等異狀ヲ呈スルカ如キコト  
 ナカルヘシ又日本政府ハ海邊ノ險謀防止ノ爲國際委員ヲ設置スル等  
 ノ考案ヲ提議セラレタルモ右ハ左ノ理由ニ依リ實行不可 能ナルヘシ
- (一) 秘密探偵ニ使用シ得ヘキ適當ナル人物ヲ得ルコト頗ル困難ナリ
- (二) 國際委員ハ支那ノ主權ヲ侵害スルコトナクシテ有效ナル行動ヲ爲  
 シ得ル見込ナシ
- (三) 假ニ國際委員ニ於テ獨逸人ノ罪跡ヲ探知シタリトスルモ先ツ關係  
 國ヨリ支那政府ニ交渉シ支那政府ヲシテ獨逸官憲ニ處分ヲ要求セ  
 シムル外ナカルヘク此ノ場合獨逸官憲ニ於テ取上ケザルトキハ獨  
 逸ニスヘキヤ且獨逸人ノ非行ヲ現實ニ認メタル場合ト雖獨逸官憲

7-0259

0365

ノ外逮捕シ得ルモノナキヲ以テ犯人ノ逃走極メテ容易ナルヘシ  
 (四) 獨逸專管居留地ヲ離隔スルトキハ其ノ内ニ居住スル歐國人ノミナ  
 ラス中立國人ノ自由ヲ東縛スルコトトナルヘク且右離隔ノ結果獨  
 逸國ニ其ノ居留地内ニ居住スル歐國人ニ對シ不當ノ口實ヲ與フル  
 コトトナルヘシ

(五) 居留地ヲ離隔シ往來交通ヲ制限スルコトハ支那ノ主權ヲ侵スノミ  
 ナラス之レヲ實行スルトスルモ獨逸人ハ獨リ居留地内ニ於テノミ  
 ナラス其ノ以外ノ地ニ於テモ陸路ヲ遮禁シ得ル餘地アルヘシ

(六) 支那衙ト接觸スル獨逸居留地境ニ警備ヲ配置スルモ何種ノ 敵兵  
 ルヘキヤ且警備ニ於テ何等カノ行動ニ出シ方直ニ支那ノ主權ヲ侵  
 害スルコトトナルヘシ

(七) 稅關長ニ對スル命令ハ支那政府ノ發スヘキモノナル所支那ハ獨逸  
 ノ感情ヲ害スルコトナクシテ特ニ獨逸人ノ陸路取締ニ關スル命令  
 ヲ發シ得サルヘシ

(八) 一國ノ專管居留地ヨリ故ナクシテ獨逸人ヲ放逐スルトキハ支那ノ  
 主權ヲ侵害スルコトトナルヘシ尙假ニ專管居留地ハ問題トナラス  
 トスルモ共同居留地ノ場合ハ如何之ヲ要スルニ日本政府ノ提議ハ  
 殆ント一モ満足ニ實行シ得ヘキ見込ナシト原料セラルルカ斯ル實  
 行困難ナル方法ヲ提議セラルルニ要リタルハ如何ナル處置ニ出テ  
 タルカ了解ニ苦ム所ナリ專權カモ知ラサレトモ露骨ニ云ヘハ日本  
 政府ニ於テハ實際三國政府ノ提議ヲ好マレヌ去リトテ聯合國ニ對  
 スル提議會上無下ニ拒絕スル譯ニモ進ラサル爲今同ノ如キ回答ヲ

110763

爲スニ至リタル次第カト察セラレ云々

以上海關公使ノ所見ハ如何ナル程度迄本國政府ノ採用スル所トナル  
ヘキヤ業ヨリ不明ナルモ何等御參考ト可相成カト存シ特ニ電報ス

林領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

濟南 大正五年一月七日發

同 年同月同日受

當地ニ於ケル獨逸人ノ正備ナル數ハ知リ難キモ大約百二三十名内外  
ニシテ其内ニハ我國ニアル捕虜ノ家族少カラヌ獨逸商店ニテハ二三  
雜貨商ノ外殆ト皆休業同様ノ狀態ナルカ獨逸領事館ヨリ時々戰報等  
ニ關スル支那文印刷物ヲ各縣知事等ニ配布スルノ外特ニ險惡等ヲ計  
畫シ得ル形跡ヲ見ス  
在支公使ヘ電報シタリ

7-0259

0367



110764

山内領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第四號

長春 大正五年一月七日發

同 年同月同日受

在奉天總領事代理宛貴電第一五四號ニ關シ附屬地内獨人四戸男六名  
 女六名獨人六戸男十三名女九名アリ尙南埠地内獨人 大體 洋行主男  
 一名他ハ阿片密賣者夫婦アリ目下ノ所何レモ何等險謀ノ形跡ヲ認メ  
 ス  
 在支公使ヘ電報ス

兼譯領事代理ヨリ石井外務大臣宛

電信第四號

長沙 大正五年一月七日發

同 年同月八日受

貴電第一五五號ニ關シ當地獨人三九名獨人一名ナリ是迄何等險謀ノ  
 形跡ナシ  
 右在支公使ヘ電報シヨリ

7-0259

0368

110765

三宅領事代理ヨリ石井外務大臣宛

電信第一號

營口 大正五年一月八日發

同 年同月同日受

十二月三十一日在奉天總領事代理宛發電信第一五四號ニ關シ目下當地ニアル獨逸人ハ三家族合計十人外既ニ英國籍ニ入レルモノ二人アリ英國人ナシ陰謀ニ關シテハ十一月二十日附政機密第五九號抽信及十二月二日附政機密第六五號抽信ヲ以テ報告シタル以外別ニナシ在支公使へ轉電セリ

瀨川總領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第二〇號（極秘）

漢口 大正五年一月八日發

同 年同月九日受

當地駐在佛國領事ハ獨逸人ヲ漢口ヨリ逐放スルコトニ關スル取調ヲナシ居ル由ニテ之ニ付本官ニ向ヒ左ノ通り語リタリ  
獨逸人ハ到ル所ニ於テ野蠻的行爲ヲナシ居ルヲ以テ之ヲ支那ヨリモ放逐スルノ必要アルカ故ニ右ニ關スル取調ヲナシ居ル所右ハ夙ヨリ北京外交官ニ於テ支那政府ト交渉シ支那ヲ同盟中ニ引キ入レタル後ニアラサレハ之ヲ決行スルコト能ハスト雖當地ニハ幸ニ日本軍隊モ駐屯セルカ故日本軍隊ニ於テ獨逸租界ヲ占領シ英佛艦ノ義勇兵之ニ

7-0259

0369

110766

加勢シテ同種界内ノ屠館倉庫等ヲ封鎖シ二百餘名ノ同胞人ヘ一名モ  
強ラヌ強制的ニ此地ヲ退去セシムルコト決シテ難事ニアラサルヘシ  
ト信ス云々  
右ハ在上海總領事專電貴電第一五四號ト何等關係アルモノカト思考  
セラルルニ付御考案ニ  
在支公使ニ轉電セリ

矢野龍溪事ヨリ石井外務大臣宛

電報第五號

奉天 大正五年一月十日發

同 年同月同日受

大正四年貴電第一五四號ニ關シ當地居住同胞人ヘ目下總計九名ニシ  
テ總テ同胞人ナリ同領事ウイフテハ總和洋行代表者シヤールレル等ト  
當ニ支那人ノ書信ヲ使用シ南北滿洲ニ於ケル日露兩國ノ軍事の行動  
ヲ探知シ北京ヘ報告シ居レルモノノ如ク我ニウイフテハ昨年十二月  
末多數支那人ヲ其ノ福會ニ會合シ何等カ書信ヲ爲シタルコトアリ當  
ニ聯合團體ノ不利益ヲ企圖シ居ルハ事實ナルモ目下ノ虛實字新聞等  
ヲ探知シ自國ニ報告好キ報道等ヲ支那人ニ流布スル風外格別ノ防範

7-0259



110767

アリトモ覺エス彼ノ<sup>キヲチヤン</sup>警衛團ナルモノヲ組織シ大規模ノ活動ヲ爲サン  
トノ風評ニ至リテハ未タ尙其ノ形跡ヲ認ムルヲ得ス只客年五月日支  
交渉後當地方ニ排日運動起リタル際ニハ同人等ノ使用スル支那人英  
米トラスト會社僱人等ニ氣脈ヲ通シ排貨熱ヲ煽動シタルコトアリ又  
豫テ同國商人ニシテ銅鐵鐵及毛皮類ノ輸出ヲ金テタルモノアリタレ  
トモ何レモ成功セス尙東清鐵道破壞計畫ノ如キ往々風説アルヲ以テ  
細心注意セルモ何等取止メタル形跡ナシ  
在支公使へ轉電セリ

瀬川總領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第二四號

漢口 大正五年一月十三日發

同 年同月十四日受

一月十三日英國總領事ノ本官ニ謁ル所ニ依レハ英僑人ノ組織セル支  
那協會漢口支部ニ於テハ當地ノ諸外國居留地内(獨逸租界ヲモ包含  
ス)ニ在住セル獨逸人ヲ放逐スルヲ目下ノ急務トナシ是カ意見書ヲ  
提出シタルニ付同總領事ハ二三日前之ヲ在北京公使ニ轉送シタリト  
云フ尙同總領事ハ當地ヨリ獨逸人ヲ追放スルコトニ關シテハ本國政  
府ヨリ何等訓令ヲ受ケ居ラスト云フ御參考迄ニ  
北京へ轉電セリ

7-0259

0371

110768

電信

肥田事務代理ヨリ石井外務大臣宛

沙市 大正五年一月十四日發

同 年同月同 日受

當管内我專管居留地ハ未タ何等ノ經營ナク内外人ノ居住者ナシ  
在支公使へ轉電セリ

蒙古農業合辦規程ニ關スル件

日置駐支公使ヨリ石井外務大臣宛

公債第一九號(機密)

北京 大正五年一月廿一日附

同 年同月廿六日受

支那  
13-1

本件ニ關シ支那政府ニ抗議方答年十二月二日附政機密送第二三五號  
ヲ以テ御訓令之次第有之候ニ付貴債接到後直ニ小幡書記官ヲシテ曹  
次長ニ伝諭ヲ送ケシメタルニ當時同次長ハ右規程發布ノ経路等ハ之  
ヲ詳知セサル模様ナリシモ中央政府ヨリハ滿蒙條約善後策ニ關シ各  
種ノ規程ヲ地方官ニ配布シ居ルニ付該規程モ其一ナルヘント語リ目  
下滿蒙ニ關シテハ日支兩國間ニ種々難多ナル問題堆積シ居ル事故是

7-0259

0372

110769

等ヲ悉ク一括シテ妥協スル事ニシタシトノ私見ヲ述ヘタル趣ナリシ  
カ最近更ニ出淵書記官ヲシテ曹次長往訪其後調査ノ結果ヲ尋ネシメ  
タルニ向次長ハ該規程ハ地方官ノ心得迄ニ内務部ヨリ各地方ニ配布  
シタルモノニ相違ナク大体會社條例ノ精神ニ則リタルモノナルコト  
ヲ語リ次テ同書記官ヨリ不都合ナル條項ヲ指摘シテ詰問シタルニ對  
シ曹次長ハ滿蒙ニ關シテハ日支兩國間ニ幾多ノ問題アリ歸家屯駐兵  
問題、警察所施設問題、間島協約解釋問題、警察稅接洽問題等殆  
ト枚舉ニ進アラサルモ一トシテ支那側ノ主張貫徹シタルモノナク警  
察稅接洽問題ノ如キ數月前支那側ヨリ提議シタルニ對シ日本側ヨ  
リハ未タ何等ノ回答タニナキ有様ニテ專每ニ支那側ノミヲ責メラル  
ルハ心外ナリト陳述シ兎ニ角支那政府ニテハ滿洲ノ諸懸案ハ之ヲ一

一一

括シテ近ク奉天又ハ北京ニ於テ解決シタキ考案ヲ有シ居リ現ニ奉天  
將軍ヨリモ詳細上申シ來リ居ル次第モアルニ付右一併商談ノ際本會  
辦規程中不都合ト認めラルル點ハ出來得ル限リ御意ニ副フ様改修ノ  
趣モアルヘシト申述タル趣ニ有之候右様ノ次第ニテ本件ハ此際重ネ  
テ嚴談スルモ到底先方ヲシテ同意セシムル見込ナキニ付追テ適當ノ  
機會ヲ俟ツ外ナカルヘキカト存候不取敢右一應及報告候也

本信寫送付先 奉天總領事代也

7-0259

0373

110770

瀬川總領事ヨリ石井外務大臣宛

電信第四五號

漢口 大正五年一月卅一日發

同 年同月同 日受

佛國領事ノ本官ニ語ル所ニ依レハ本月廿七日獨逸ノ誕生日ニ於テ當  
 地ノ獨逸人一同併カモ毅勇兵ハ何レモムニホムノ儘ニテ佛國租界  
 内ニアル獨逸俱樂部ニ集合シ約二時間許リ大聲ヲ發シ歡呼騒擾ヲ極  
 メタルヲ以テ當地ノ佛國人ハ非常ニ激昂シ佛國租界ニアル獨逸俱樂  
 部ヲ直ニ閉鎖セシメンコトヲ佛領事ニ迫タルモ領事ハ百万方之ヲ嫌  
 シテ其顛末ヲ在北京同國公使ニ電報シ其指揮ヲ俟チ居レリト云フ同  
 領事ハ豫テヨリ獨逸人全部ヲ漢口ヨリ逐放セントスル計畫ヲ立テ已

ニ意見書ヲ公使ニ提出シタルモノナレハ今回ハ尠クトモ佛國租界内  
 ニアル獨逸人ヲ租界外ニ逐放セントスルノ意氣込ヲ有シ居レリ  
 北京へ轉電セリ

7-0259

0374